



プログラム

国際協力70周年 国際協力ミライ会議

ミライの日本の開発協力は
どうあるべきか。

2024年5月15日（水）

16:30-17:40

会場：JICA市ヶ谷 国際会議場

1. 挨拶

- 開会挨拶 田中明彦（JICA理事長）
- 来賓挨拶 小淵優子氏（衆議院議員・JICA議員連盟会長）

2. 上川陽子外務大臣ビデオメッセージ

3. パネルディスカッション

テーマ：共創を通じたこれからの開発協力

パネリスト

- リーナ・アンナーブ氏（駐日ヨルダン大使）
- 多田一彦氏（岩手県遠野市長）
- 功能聡子氏（ARUN代表）
- 町井恵理氏（Afr iMedico代表理事）
- 石月英雄氏（外務省国際協力局長）

モデレーター：竹田幸子（JICA広報部長）

【お問い合わせ】

TEL：03-5226-8830

E-mail：gatga@jica.go.jp

共催：外務省、独立行政法人国際協力機構

アンケートに
ご協力ください↓



パネリスト紹介



リーナ・アンナーブ
Lina ANNAB
駐日ヨルダン大使

2016年6月から2018年11月までヨルダン観光大臣を務め、2019年6月より駐日ヨルダン大使に就任。観光大臣に就任する前は、民間企業で勤務し、ヨルダン、米国、欧州、中東・北アフリカ地域のさまざまな国でキャリアを積んだ。ジョージタウン大学（米国ワシントンD.C.）で国際関係学の修士号を取得。



多田 一彦
TADA Kazuhiko
岩手県遠野市長

2021年10月に就任。遠野市では東日本大震災以降、多くの元海外協力隊員が遠野市の地域づくりに参加しているほか、これまで、200名以上の開発途上国からのJICA研修員を受け入れている。2023年にJICAと連携覚書を締結し、グローバル人材育成、多文化共生などに向けた取組を展開中。市長就任前、東日本大震災直後にはNPO法人遠野まごころネットを設立し、岩手県沿岸部支援のために多くのボランティアを受け入れ指揮を担った。



功能 聡子
KONO Satoko
ARUN代表

アジア・アフリカの農村リーダーを育てる「アジア学院」に勤務。1995年からは開発途上国で保健医療の支援活動を行うNGO「シェア＝国際保健協力市民の会」やJICA、世界銀行の業務を通じてカンボジアの復興・開発支援に携わる。現地の社会起業家との出会いから、2009年に開発途上国のソーシャルビジネスへ投資するARUNを設立。



町井 恵理
MACHII Eri
AfriMedico代表理事

薬剤師。製薬会社に勤務後、2006年からニジェール共和国で2年間青年海外協力隊として感染症対策のボランティアに従事。現地の経験から医療環境を持続的な仕組みで改善したいと考え、大学院（MBA）の研究を経て2015年NPO法人AfriMedicoを設立。日本発祥の300年江戸時代から続く置き薬を現代版・アフリカ版に改革中。2016年Forbes JAPAN「世界で戦う日本の女性55人」に選出。



石月 英雄
ISHIZUKI Hideo
外務省国際協力局長

東京大学卒業後、外務省に入省。報道課長、北米第一課長、在外公館課長、在中華人民共和国大使館公使、第9回太平洋・島サミット準備事務局長、アジア大洋州局審議官、総合外交政策局審議官・サイバー担当大使などを経て、2024年より現職。